

平成28年度 地すべり対策事業 再評価調書

事業名	地すべり対策事業	地区・路線名	かみやまなかき 神山中2期地区
事業主体	徳島県	関係市町村	神山町
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は、鮎喰川左岸域に位置し、府中、宇度木及び川平工区の地すべり防止区域により構成されている。</p> <p>地質は、風化・破碎の影響を強く受けて崩積土が比較的厚く堆積している。すべり面はルーズな状態の崩積土層下面と、風化変質の進行により粘土化した破碎岩の脆弱部に形成されている。</p> <p>地すべりブロックが分布している緩傾斜面部は、畑地・果樹園等の耕作地として利用されており、また本地区下流には、農地、農業用施設、町道、家屋が位置していることから、国土保全と民生の安定に資することを目的に地すべり防止工事を行い、農業生産基盤及び生活基盤の維持・保全を図るものである。</p>		
	要	<p>(事業内容)</p> <p>受益面積 89.8ha            受益戸数 11戸            主要工事 承水路工 42m 排水路工 361m 排水ボーリング工 2,010m            集水井工 2基 排土工 1箇所 土留工 1箇所 アンカー工 2箇所            総事業費 325,000千円(国50%、県50%)            工期 平成24年度～平成33年度</p>	
評価	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>平成27年度までに4ブロック中1ブロックを実施している。            平成28年度末の事業費進捗率は30%となっている。</p>		
	<p>(関連事業の進捗状況)</p> <p>該当無し。</p>		
	<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>農業従事者の高齢化は進んでいるものの、農家人口に大きな変化はなく農業生産への意欲は高い。また、台風時の豪雨等による斜面崩壊や石積・里道の崩壊等の被害が発生している状況や近年のゲリラ豪雨等の増加から防災意識も一層高まっており、生産基盤・生活基盤の保全への要望は強まっている。</p>		
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>該当無し。</p>		
項目	<p>(事業効果の発現状況)</p> <p>地すべり活動が特に顕著であった府中工区のBブロック北側を優先的に施工し、排水ボーリング工及び排水路工により、地下水位の上昇を抑制し地すべりの危険性を軽減された。今後の調査結果をもとに、ブロック全体での抑制工及び抑止工についても検討する。引き続き、他工区のブロックについても事業推進により被害防止を図る。</p> <p>被害防止効果＝予想被害額／総事業費＝3.16</p>		
	<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>神山町及び地元は、事業の早期完成を強く要望している。</p>		
	<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>		